教育福祉会館運営協議会準備会　部会報告シート

（　部会名：企画・広報部会　）

|  |  |
| --- | --- |
| 実施回数 | ２回（第１回：R2.10.15，第２回：R2.10.17） |
| 概要 | 第１回　・リニューアル後の教育福祉会館の企画・広報に関する自由意見の交換を行った。第２回　・部会における今後のタスクの整理を行い，共通認識を図った。 |
| 主な意見 | 第１回　※自由意見（広報・宣伝・ＰＲ・マーケティングについて）　・段階性・双方向性・統一性・継続性が重要。　・何をＰＲするのかが大切。　・広報媒体については整理が必要。　・実際の活動を見せながら周知していくという可視化が有効。（教育福祉会館の目的に沿った変化について）　・運営側から考え方の変化が必要。　・目的として“自由に使える公民館”としていくための考え方，案を検討。　　　↕　・今までの利用ルールが存在するため，それも踏まえて検討していく必要。（コーディネートについて）　・今後の教育福祉会館運営で重要なことは連携と連鎖。そのためにはコーディ　　ネーターの存在が必要。　・コーディネートする対象として，多世代間のみにこだわらず，同世代間も必　　要。（今までの状態を踏まえたゴールイメージについて）　・今までの閉塞感を払拭して，今までの未利用者層に訴えかけられる施設に。　・理想像を今まで言語化していなかったため，整理し分かりやすく言語化が必　　要。第２回　※検討結果・企画・広報部会の今後のタスクとして，次の５点を優先順に整理　①全体のコンセプト，メッセージといったものを言語化し，部会間で共有する。　②令和３年１月１８日と４月を基準とし，前後，当日に分けて大枠を決める。　③内覧会の実施内容を決める。　④愛称決めに関して方法等を決める。　⑤令和３年４月に実施するフルオープンイベントの内容を決める。 |
| 今後の方向性 | ・上記タスクを実施していくため，１１月から週１回程度の部会で検討を進めて　いく予定。・検討結果は，適宜事務局から他の部会に情報提供。 |